

様式第7号（第12条関係）

精算額算出内訳書兼事業実績書

事業所名：特別養護老人ホームみやざき苑

サービスの種別 (いずれかに○)	サービス区分	利用定員数 (A)	補助対象台数割合 (B) (いずれかに○)	補助対象限度台数 (A) × (B) (C) ※1台未満切り上げ
施設・居住系 在宅系	介護老人福祉施設	55	1/10・1/20	6

介護ロボットの種別	機器名	機器購入価格 (D) 円	補助基準額 (D) × 1/2 (E) 円	1台あたり申請額 ※(E)と30万円のいずれか低い額 ※千円未満切り捨て(F)	台数 ※合計が(C)欄を超えないこと (G) 台	実績額 (F) × (G) (H) 円	交付決定額 (I) 円	確定額 ※(H)と(I)のいずれか低い額 (J) 円
見守り・コミュニケーション	眠りスキャン	90,000	45,000	45,000	6	270,000	270,000	270,000
合計					6	270,000	270,000	270,000

※1 上記金額は、税抜きで記載すること

※2 (B)欄は、施設・居住系サービスにあっては1/10、在宅系サービスにあっては1/20

2. 事業実績書

介護ロボット導入により得られた成果（詳しく記載すること。）

令和元年11月30日に眠りスキャンを導入したが、機器により寝ているか起きているかがあらかじめ把握できることで、利用者の支援が必要なタイミングで効果的に対応することができるようになった。その結果、不必要な訪室が減り、夜勤の見守り回数が従来より減少し、介護職員の身体的・心理的な負担軽減につながった。